



NPO法人 いしくわら 石黒邑  
**田辺 和幸**  
TANABE KAZUYUKI

1958年 柏崎市高柳町石黒出身  
2019年 12月に「NPO法人 石黒邑」を設立  
2020年 古民家「石黒邑の村長さん家(ち)田中」  
を拠点に活動中

市内高柳町石黒は、昔ながらの暮らしや古民家、棚田、ブナ林が今も残る自然豊かな地域。石黒の文化や暮らし、自然を守り、維持していこうと4年前に「NPO法人 いしくわら 石黒邑」が設立された。設立後、縁あって石黒地内の古民家を購入して修繕を加え、「石黒邑の村長さん家(ち)田中」と名付けた農家民宿が、現在の活動拠点になっている。

代表の田辺和幸さんは石黒出身で郵便局に長く勤務されていた。大学進学と就職で石黒を離れていたが、28歳の時に地元郵便局への異動が決まり、戻ってきた。一時期、地元を離れたことで石黒の良さや歴史的価値に改めて気付き、この土地や風景を守らなければという思いを強く持つようになったという。

昭和63年に始まった、高柳じょんのび村構想の計画に石黒地域の若手代表委員として参加した。その後、石黒地域の4、50代の6名が集まり、これからの石黒を考え、行動する会「石黒水曜くらぶ」を発足させた。先進地への視察や会での話し合いを重ね、市や県の補助事業を利用して石黒の食文化の伝承を映したDVD

の作成や、耕作放棄地に青大豆を植え、みそ作りにも取り組んだ。新潟国際情報大学「土屋ゼミ」との地域活性化事業では、大学生が各集落を訪問し交流するうちに住民の意識にも変化が現れ、地域活性化につながったという。さまざまな活動を経験する中から、行政にはあまり頼らずに自分たちでできることを行っていく事実型の活動を続けていくことを目指して「NPO法人 石黒邑」が生まれたと田辺さんは話す。活動は「古民家と石黒の食を伝承する部会」、棚田百選にも選ばれた「花坂の棚田の維持、ブナ林の整備等の環境部会」、「石黒の農産品や手作り品をPRするイベント部会」の3つに分け、それぞれのメンバーが担当し進めている。

そして、石黒邑の立ち上げと共に設立したのは「石黒応援団」。活動のためには資金も必要だが、大切にしたいのは石黒を取り巻く人たちのつながり。会員は町内の人だけでなく市外や県外へ出た人たちにも広がり、会費の他に寄付というかたちで地元の活動を応援する。会員数はおよそ100名、活動を記した年4回の会報「さわらび」が発送されている。

拠点となる、石黒邑の村長さん家の「田中」は名字ではなく屋号。農家民宿として春から12月頃までは1棟貸にも対応する他、石黒を離れた人たちが気軽に集まれる場所にしたいと考えている。今後は田中を拠点に、地元のお母さんたちと隣の加工場で伝統食や漬物を作ったり、イベントと組み合わせるブナ林の整備をしたり、地元の人たちを巻き込みながら、地域や地域以外の人たちが交流する場を作っていきたいと話している。



お問い合わせ

石黒邑の村長さん家(ち)田中  
柏崎市高柳町石黒1434  
☎090-7232-2896

